

まちの話題

来年3月に撤退となる皇學館大学 社会福祉学部

「結」で締めくくった「皇名祭」



皇學館大学名張学舎で大学祭「なバリ愛フリー 2010 第13回皇名祭」が、10月23日・24日に開催され、学生や卒業生、地域の皆さんなど4,000人が参加。今年是最期の「皇名祭」となり、「結」をテーマに大いに盛り上がりを見せながら、13年の歴史に幕を閉じました。

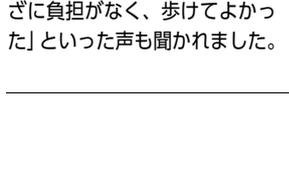
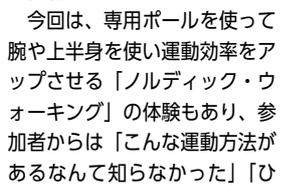
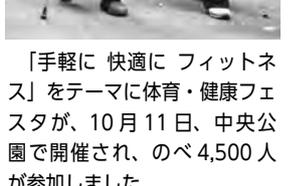
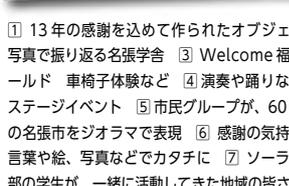
皇名祭実行委員長 奥坊 明奈さん



テーマを「結」とした皇名祭には、学生はもちろん、卒業生や地域の皆さんにも多数参加いただき、過去最高の来場者数となりました。また、学生や卒業生が実施したイベントに市内の事業所から景品を提供していただいたり、学生と地域の皆さんと一緒にソランを踊ったりしましたが、これは、これまで築上げてきた地域の皆さんとのつながりがあったからこそ実現できたもの。皇名祭は、こうした「結び」をカタチに残す場にもなったんだと思います。

名張学舎が無くなってしまふことは寂しいですが、わたしたちにとって皇名祭は、大きな思い出として残っていくはず。また、皇名祭の来場者をはじめ、学生とともに活動いただいた地域の皆さんにも、名張学舎があったことを覚えておいていただくと、とてもうれしいですね。

「さよならだけど、さよならじゃない」。これから新たな「結び」が生まれてくることを願っています。



① 13年の感謝を込めて作られたオブジェ ② 写真で振り返る名張学舎 ③ Welcome 福祉ワールド 車椅子体験など ④ 演奏や踊りなどのステージイベント ⑤ 市民グループが、60年後の名張市をジオラマで表現 ⑥ 感謝の気持ちを言葉や絵、写真などでカタチに ⑦ ソーラン節部の学生が、一緒に活動してきた地域の皆さんとソーラン節を披露 ⑧・⑨ 元気一杯の学生たちによる模擬店 ⑩ 熱気に包まれたピンゴ大会

なバリ愛フリー-2010 第13回皇名祭

なバリ愛フリー-2010 第13回皇名祭

ノルディック・ウォーキング初体験

体育健康フェスタ2010



「手軽に 快適に フィットネス」をテーマに体育・健康フェスタが、10月11日、中央公園で開催され、のべ4,500人が参加しました。

今回は、専用ポールを使って腕や上半身を使い運動効率をアップさせる「ノルディック・ウォーキング」の体験もあり、参加者からは「こんな運動方法があるなんて知らなかった」「ひざに負担がなく、歩いてよかった」といった声も聞かれました。

障害者農業就労体験 農業を障害者就労の場に

農業分野での障害者就労を進めたいこと、障害者を対象に「農業就労体験」が、10月7日・8日に開催されました。

指導にあたったのは、市や農業関係者、福祉施設・学校などで組織する「市障害者アグリ雇用推進協議会」が主催する研修講座を受講した「農業ジョブトレーナー」の皆さん(現在登録者は15人)。今回は、その中の一人、羽鹿秀仁さん(安部田/写真右下)の田んぼで稲刈り体験が実施されました。

「稲を束ねて縛る作業は、障害者にとって少し難しいようでしたので、ジョブトレーナーが手伝いましたが、障害者の皆さんができる



作業もたくさんあります。しんどいといながらも、楽しんで、稲刈りを体験いただけだと思います」と羽鹿さん。

一方、4人の障害者の参加者からは、「汗をかきながらの屋外での作業はとっても気持ちがいい」といった声も聞かれました。



かがやきフェスタ

親子で一緒に楽しもう!

10月23日、こども支援センターかがやきで「かがやきフェスタ」が開催され、約120組の親子が訪れました。大道芸では、パパやママたちも、童心にかえって、子どもたちと一緒に楽しんでいました。